

地域と共に

Contents

- ・地域×大学 本学卒業生インタビュー
- ・Campus Life Q&A
- ・Introduction サークル活動
- ・NCU INFORMATION

特集

地域×大学 本学卒業生インタビュー

第1部

名寄市立総合病院

看護学科 4年生
高島 渉さん
士別市出身

看護学科 4年生
松浦 千夏さん
静岡県出身

看護学科 4年生
堂前 未波さん
美深町出身

看護師
前田 葵さん
平成30年度卒
名寄市出身

看護師
沼尻 亜希さん
平成30年度卒
名寄市出身

×



本学では地域社会の保健医療の向上と福祉の増進に貢献する「ケア」の専門職の育成に取り組んでいます。今回は本学を卒業し名寄市で働く卒業生へのインタビューを行いました。「なぜ、名寄市を選んだのか」、「専門職として働くやりがい」など、学生の視点からのインタビューを是非ご覧ください。

第2部

名寄市

社会福祉士
中嶋 亮太さん
平成29年度卒
名寄市出身

×

社会福祉学科 4年生
藤井 妃菜さん
室蘭市出身



大学×名寄市立総合病院



－社会に出てから思う社会人と大学生の違い

沼尻－「責任」の重さですかね。学生の頃は課題を忘れても自分の責任です。社会に出ると、例えば手術をする患者さんが自分のミスで手術中止になると、自分だけでなく、患者さんや手術に携わるスタッフの人たちみんな困ります。なので単純な仕事ひとつでも適当にはできません。就職して3年目でもプレッシャーは日々感じています。

前田－自分のミスで患者さんの命に関わる仕事なので毎日毎日プレッシャーです。怖くなっちゃいます（笑）。ですが、それを乗り越え、患者さんが徐々に元気になり無事退院したり、そのご家族からもらう言葉で頑張ってたよかったなって思いますし、その達成感があるから頑張れます。

－名寄市立総合病院を選択した理由

前田－地元であり、患者としてもなじみある病院だったこと。また、実習でお世話になり、各病棟や看護師、医師の雰囲気但至少でもわかっていることが一番大きかったです。他の病院とどちらにするか迷ったこともありますが、自分が知っている病院がいいと思って選びました。

沼尻－名寄市立総合病院で働きたいから名寄市立大学を選びました。就職先を決めていたのであまり進路に迷いはなかったですね。

－学生時代やっておいてよかったこと

沼尻－他の学科や学年の友人と交流できたので、サークル活動はやっていてよかったです。あとは勉強ですね（笑）。大学で学ぶ看護の勉強ってすごく大事で、学生の時にはそれになかなか気づけなくて、どこかで「楽をしたい」と思っていました。社会に出て「もっと勉強しておけばよかった」と思うことが沢山あったので、勉強は学生のうちに沢山しておいて損はないです。

前田－看護師は患者さんとお話ししたり、電話を掛けたりという機会が沢山ある仕事なので、コミュニケーション能力はアルバイトですごく身に付いたと思いますね。

－国家試験の勉強と卒業論文の乗り越え方

沼尻－国試の模試の点数は本番直前まで伸びませんでした。範囲が広すぎて…（笑）でもコツコツと勉強していけば全部の範囲が終わってから少しずつ点数は上がっていくので諦めずに頑張れば成果は出ると思います。

前田－退館時刻ギリギリまで大学で卒論をやって、それ以外の時間で国試勉強でした。周りはどんどん点数が伸びるのに、私はずっと停滞していてすごく焦りましたが、最後まで友人と励ましあって勉強していました。グループラインで語呂などをみんなで共有しました（笑）。最後は自分を信じてマイナスなことは考えないようにしていました。

－看護師1年目で大変だったこと。

前田－知っていた病棟とはいえ、毎日の課題や先輩からの指導、新たな技術の習得、新しい人間関係など慣れるのに必死でした。

でも、実家からの通勤だったので家族の支えは大きく、また、同期とご飯に行き息抜きをして乗り越えました。

－学生へのエール

沼尻－諦めずに勉強を続ければ国試も絶対に合格できます。プレッシャーに負けず頑張ってください。応援しています。

前田－辛い時は一旦休んでもいいと思います。国試の勉強は社会に出てから必ず役に立ちます。頑張ってください。

大学×名寄市

一名寄市役所を希望した理由

名寄市で育ったこと、「高齢福祉」の分野に興味があったこと、実習で名寄市役所に行き実習指導者の方が実際に市民の方・高齢者の方と関わっている姿を見て、「自分もこういう風に市民の方のために働きたい」と思い、希望しました。



一社会人になって思うこと

悩むことやうまくいかないことだらけですが、困っている市民の方の話を聞いて、みんなで打開案を出すということは市の職員だからできることだと思うので、やりがいがあります。現在、高齢の分野を専門にしていますが、障害の分野も経験できればと思っています。公務員は内部異動があるので、社会福祉の幅広いところを知れることは強みだと思います。

一社会福祉学科だったからこそ学べたこと

名寄育ちですが、民生委員の方をはじめ地域に貢献している方が沢山いることは大学生になって気づきました。子育て支援制度や高齢者施設について高校生の時は知らなかったので勉強になりました。

一国試の勉強

演習室を何人かで貸し切り、朝から夜まで勉強していましたが、始めたのは公務員採用試験が終わってからでした。一人だと今日は休んでしまいたいという気持ちが出てきてしまうので、友人と支え合いながら勉強していました。

一名寄市の魅力

冬は確かに雪が多いですし、沢山お店があるわけではないですが、車があれば市内で買い物ができますし、必要な時には気軽に旭川や札幌に行くこともできるので、不便は感じません。災害も少ないので住みやすいところだと思います。

一学生へのエール

4年間という短い学生生活を名寄市で楽しんできたいと思います。大学生で学んだことは社会に出てからも役立つことばかりです。それぞれの目標に向かって頑張ってください。

インタビューを終えて



看護学科 4年生
堂前 未波さん

国家試験や就職に向けた取り組みについて丁寧に教えてくださり、とても有意義な時間でした。看護師として働くことの意義や大切なことについて考える良い機会になりました。



看護学科 4年生
松浦 千夏さん

社会に出る覚悟や準備すべきことを教えていただきました。まずは、目前に迫ってる国家試験の勉強、卒業研究と真摯に向き合い、自分を信じながら頑張っていこうと思います。



看護学科 4年生
高島 渉さん

就職するにあたって不安がありましたが、お話を聞いて、安心することができました。今回のインタビューを参考に残りの学生生活も頑張ろうと思います。



社会福祉学科 4年生
藤井 妃菜さん

職業を選択するうえで、名寄市や名寄市立大学がどんなものだったのか聞くことができ、私もこれからについて考えていきたいと思いました。

Campus Life

Q&A

～入学してから半年の1年生へ～

現在の心境やこれからの大学生活で楽しみなことを、インタビューしました。
入学した頃と現在の違いなど学生の充実したキャンパスライフを覗いてみましょう📖



栄養学科 1年
北海道登別明日中等教育学校 出身
葛西 沙知 さん



看護学科 1年
岩手県立不来方高等学校 出身
高橋 晶望 さん



社会福祉学科 1年
北海道名寄高等学校 出身
高橋 咲帆 さん



社会保育学科 1年
岩手県立遠野高等学校 出身
多田 明日香 さん

夢だったオープンキャンパスサポート学生を経験！

一人暮らしで最初は不安もありましたが、名寄市ならではの援農ボランティアに参加し交流を深めたりしたこと、半年があっという間でした。自分自身が高校生の時に参加して憧れであったオープンキャンパスのサポーター学生にも進んで参加し、高校生には、自分が高校生だった時に接してくださった先輩のように、真面目ながらも気楽に明るく対応するように心がけました。入学したばかりですが、すでに楽しい大学生活が送れていることを高校生に伝えられたのではないかと感じています。

学生生活の驚きと苦勞

予想以上に対面授業があり驚きましたが、友人もできて一安心しています。

しかし、オンデマンド（動画配信）授業は自分が好きな時間に受けられることから、生活リズムが不安定になってしまい苦勞しました。また、サークル活動がほとんどできておらず、先輩と関わる機会が減っていることにも少し苦勞しています。

サークル活動の再開が楽しみ！

後期から専門科目の授業が増えることで、自分が将来管理栄養士として働く上で直接活かすことのできる知識や技術を積極的に身に付けていきたいです。実験も対面授業で始まるため、中学高校よりも発展的な内容を大学の施設で白衣を着て行うことが楽しみです。サークル活動が始まることや、次回のオープンキャンパスで知り合いが増えることにもワクワクしています。また、名寄市はスキー場へのアクセスも良いと聞いたので、ウィンタースポーツを楽しもうと思います！

私のおすすめ講義

『栄養教育総論』

栄養教育総論は前期開講科目で、栄養教育の定義、目的、歴史等を学びました。授業内で栄養カウンセリングの演習（グループディスカッション）があり、その体験を通じて自分が将来管理栄養士として働く上でやりたい内容について考えることができました。



栄養学科 1年
葛西 沙知 さん

サポート学生楽しかった♪



名寄の冬が楽しみ！



サンピラー現象



大学生活はあっという間！

半年が経過してみて、すごく早く時間がたったなと思います。あっという間に前期が終わり後期が始まったような気がします。講義も専門的な科目が増え、難しく感じますがとても面白いです。

講義以外では、コミュニティケア教育研究センターのボランティア活動に参加したり、バスケットボールサークルの活動も少しずつですが再開してきたので後期はキャンパスライフをもっと充実させたいと思います！

地域の人があたたかい

実際に入学して驚いたのは、想像していた以上に地域の皆さんとつながりがあることです。地域の方々が多くのお食材や日用品を支援物資としてくださるのはすごいことだなと思いました。一人暮らしをする上でとても役に立つものなどをたくさんいただけて本当にありがたいなと思います。特にすぐ使える缶詰や生活必需品のトイレットペーパーが個人的にありがたかったです。

看護師に必要な専門分野を早く学びたい

これから楽しみなことは、より専門的な講義が多くなり看護についての知識をもっと深く知ることができるので、大変だとは思いますが自分の目指す看護師に一步步近づいていけることです。また、新型コロナウイルスがだんだん収まってくるともっと自由に友人と遊んだり、対面の講義が増えていろいろな人と会うこともできると思うのでそれも楽しみです。

進級すると臨地実習などもあるので不安がありますが、少しでも不安を拭えるように基礎をしっかりと学んでいきたいです。

私の印象に残ったこと

『看護の技術試験』

印象に残っているのは看護の技術試験です。とても難しく友人と教えあったり、先生にたくさん聞いたりして何とか乗り越えることができました。実際に看護師さんが普段行っていることを自分たちの手でやってみると、より一層看護師を目指しているという自覚を持ってました。



看護学科 1年
高橋 晶望 さん

ボランティア活動に参加！



友人と協力して



自由な自分の時間を有効活用

前期はリモートでの授業が多く、正直想像していた大学生活をあまり感じることなく日々を過ごしていました。でも週に何回かは対面での授業があったので、友だちと顔を合わせて講義を受けることがとても楽しみでした。自由な時間が多かったので、自動車学校で免許を取ったり、趣味に没頭したりと充実した日々を送ることができたように思います。自分で時間を管理することの大切さを実感した半年でした。

学食のボリュームに驚き！

学食の値段とボリュームの差には驚きました。特にカレーは値段がとても安いのにお腹が十分以上に満たされる量でした。しっかりと栄養バランスも考えられていて美味しいです。メニューも豊富なので色々なメニューを制覇してみたいです。

他学科や他学年の人との交流が楽しみ

これからはサークル活動に参加できることが楽しみです。前期はほとんど活動がなかったのでずっと心待ちにしていました。サークルでは他学科や他学年の人たちとも関わることができるので、多くの人と交流ができたと思っています。

今まで経験したことのない活動を行っているサークルに入ったので、新しいことへの挑戦を楽しみながら、学業やバイトなどうまく並行して積極的に参加していきたいです。

私のおすすめ講義

『基礎演習』

「基礎演習」です。ほかの講義ではあまり関わる機会がなかった他学科の人たちと交流することができました。学びを得るだけでなく、道外から進学してきた人もいたので、その地域ならではの話が聞けてとても楽しかったです。

後期にも基礎演習の講義があるので、もっと交流を深めていけたらなと思いました。

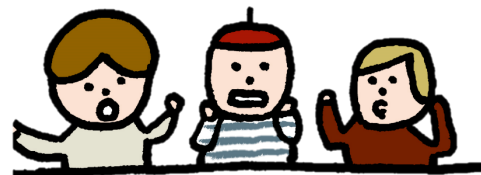
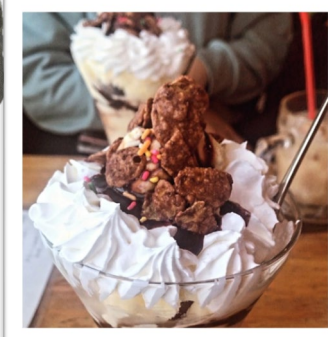


社会福祉学科 1年
高橋 咲帆 さん

＼この日はカレーライス🍛／



＼友人とパフェ巡りへ／



ひとり暮らしも半年たつと楽しい！

ひとり暮らしは全ての家事を自分で行わなければなりませんが、半年もたつと慣れてきて、楽しいと思えるようになってきました。入学時は友人が出来るのか不安でしたが、多くの友人に恵まれ、一緒に名寄市内の美味しい飲食店を探したりして楽しいキャンパスライフを送ることができています。後期は前期より授業数が多く、最近自動車学校にも通い始めたので、スケジュールを立てながら両立を頑張りたいと思います。

沢山の学生支援に驚き

コロナ禍で困窮する学生へ様々な支援があることに驚きました。学食の全品100円引きや、定期的に地域の方から生活に必要な物資や、お米やアスパラなど食料をいただけて、学生支援が充実していることに驚いています。地域の方々のあたたかさが伝わり、人との繋がりが多い大学だということを改めて知ることが出来ました。とてもありがたいですし、生活の中での悩みも減るのでこれからも一層勉学に励みたいと思います。

北海道の冬が楽しみ

道外出身なので北海道はどれだけ雪が降るのか朝起きてカーテンを開ける瞬間が楽しみです(笑) また、冬のスポーツはスケートしか経験した事がないので、雪質日本一と言われる名寄市でスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツにも積極的に挑戦してみたいと思います。

私のおすすめ講義

『図画工作Ⅰ』

授業で凧を作成し、河川敷に行ってみんなで凧揚げをしたことです。風が良く吹いていたので手元の糸をギリギリまで伸ばして遠くまで揚げる事が出来ました。途中友人の凧と絡まったりしてバタバタする場面もありましたが…(笑) 友人と「どうしたら遠くまで揚げる事ができるのかな」と話し合いながら楽しく講義を受けました。そして北海道の大自然の空に広がるたくさんの凧はとても素敵でした。

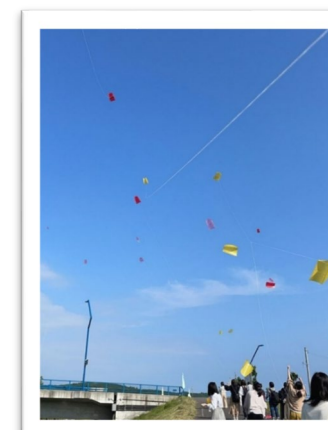


社会保育学科 1年
多田 明日香 さん

＼美味しい食材がいっぱい🍷／



＼天気も良くて最高でした♪／



Introduction



サークル活動



HANKer



シロクロバー



ミニマム



ボクと四元豚



sky parker



2019

～ライブの様子①～



2019

～ライブの様子②～



2019

～ライブの様子③～

IFE!
す！NO MUSIC NO LIFE!
ができたらいなと思っ
年生と最後に音楽を奏
年こそは、卒業ライブ
うになるのを願って
収まり、みんなが活
ます。1日でも早く感
器演奏のみでの練習
気が繰り返し、歌唱
ます。1日でも早く感
収まり、みんなが活
うになるのを願って
年こそは、卒業ライブ
ができたらいなと思っ
す！NO MUSIC NO LIFE!

軽音室という密な環境で、歌を歌うので飛沫問題などが影響され、なかなか活動ができていない状況です。その中でも、換気を繰り返し、歌唱を控え、楽器演奏のみでの練習を行っています。1日でも早く感染拡大が収まり、みんなが活動できるようなのを願っています。今年こそは、卒業ライブを行い4年生と最後に音楽を奏でることができたらいなと思っす！NO MUSIC NO LIFE!

先輩後輩分け隔てなく仲が良く、音楽について話し始めたら1日では足りないです。まさに真剣そのもの。基本はふざけてばかりで、会話が成り立たないことも沢山あります…(笑)

音楽の幅が広がり、自分の知らない世界に触れることが出来ます。音楽が成り立つまでの様々な役割を知ることが出来るのも魅力の一つです。学年学科問わず、また学外の人も交流することが多い為コミュニケーション能力が培われますよ！

サークルを通しての学び、音楽を通して、学年学科問わず交流し、また学外の人たちとも交流を深めることです。バンドを組み、それぞれが音楽への興味関心をぶつけ合いながらライブに臨んでいます。

サークルとしての目標、音楽を通して、学年学科問わず交流し、また学外の人たちとも交流を深めることです。バンドを組み、それぞれが音楽への興味関心をぶつけ合いながらライブに臨んでいます。

<h2>軽音サークル</h2>
部員数：88名
活動日：フリー
場所：学生会館2階軽音室
出演歴：名寄市ブルービートサウンド

Introduction



サークル活動



2019

～大会打ち上げ後の1枚～



2019

～大会の様子①～



2019

～大会の様子②～

ソフトボールサークル

部員数：30名

活動日：毎週火曜日
 場所：大学グラウンド
 出場歴：第33回 グラウンド開き兼会長杯
 第45回 名寄市民ソフトボール大会

～サークルとしての目標～

まず第一に楽しんで活動することです！他学科・他学年とも交流することができ、大学生活をより充実したものにできます♪

～サークルを通じての学び～

コミュニケーションを取りチームでプレーすることの大切さが学べます。個々の努力も大切ですが、スポーツであるので周りとのコミュニケーションを取ることがいいプレーに繋がります。ここでの学びは将来にも必ず役に立つと思います！

～サークルの雰囲気～

楽しい雰囲気です。試合や練習に取り組んでいます。たとえエラーをしたとしても誰かに注意されるといふこともなく、安心して試合に臨めます。

大会の後にはミーティングをして、皆で今日の反省点を話し合いとても仲が良いサークルだと思っています！

～コロナ禍の状況～

大会出場が主な活動となっているので、コロナの影響で大会が中止になることもありましたが、今年は2回しか大会に出場することができませんでした。なかなか練習もできていません。スポーツは身体だけではなく心も豊かにしてくれると思います。少しでも早く、普段の日常に戻って欲しいです。来年はもう少し活動できることを願っています。



NCU INFORMATION

本学の近況・活動を紹介します。

職域接種

新型コロナウイルスワクチン 職域接種を実施しました

令和3年6月29日から学生や教職員、市内福祉施設勤務者など市が進める先行接種対象者をあわせて約1200人を対象に、新型コロナウイルスワクチン職域接種を行いました。

接種にあたったのは名寄市立総合病院の医師と医師・看護師免許を保有する本学教職員です。接種を受けた学生は「接種時に優しく声をかけてくれたので安心した」「実習前にワクチンを打ててよかった」と話していました。

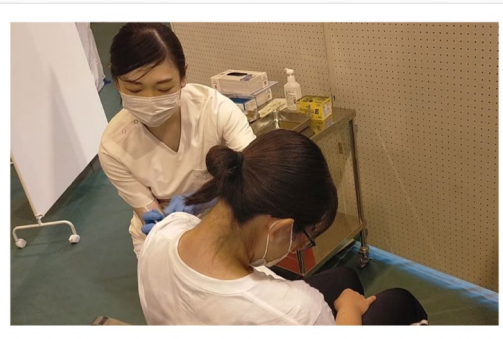
本学では約85%の学生や教職員が2回の接種を終え、後期は前期よりも多くの対面授業を開講しています。

引き続き感染対策を十分に行いながら、学生の学びの場を最大限提供していきます。

職域接種を終えて

職域接種の一番の目的は、学生たちに安心して大学生活を送ってもらうことです。後期からは学外実習が活発になりますので、先行で接種を行うこととしました。

感染力の強い株のまん延という事態が出現したことで、換気、マスク着用、手洗いは当分続ける必要があります。しかし、多くの学生と教職員の発症や重症化を防げるようになったことはなによりです。大きなトラブルもなくワクチン接種が終了し安心しました。大学での活動が再開できることを願っています。



栄養学科 塚原 高広 教授 (学校医)

∫ Interview ∫

魅力プロジェクト名寄 | ※

※学生たちによる、本学の「魅力」を受験生、関係機関等の皆様へ伝える独自のプロジェクト

学生が出身高校を訪問しました

今年度からの新しい企画として、夏季休業期間の帰省を利用し、学生約30名が出身高校に出向き、大学生活や名寄の暮らしについて進路指導の先生方に説明してました。

出身高校ではどこも温かく迎えていただき、学生も懐かしみながら成長した姿を見ることができました。また、生徒と面談する機会もいただき有意義な企画となりました。



魅力プロジェクト名寄II

支援物資をご提供いただいた方々へ
ご挨拶に伺いました



名寄市



JA道北なよろ

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、アルバイト減少による収入減、オンライン授業や不要不急の外出制限による自宅時間の増大により、学生はコロナ禍以前のような学生生活を送ることが出来ていません。

この間、名寄市を始め、市民有志の方・団体、農家の方等から日用品や食料品等、数多くのご支援をいただきました。

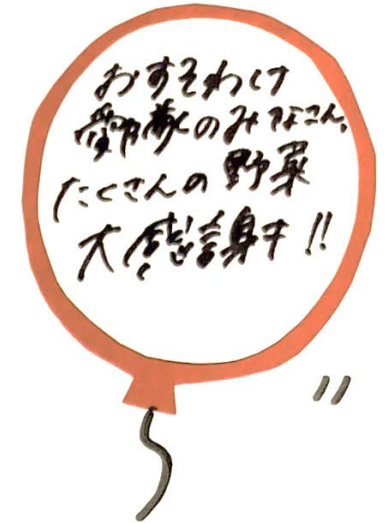
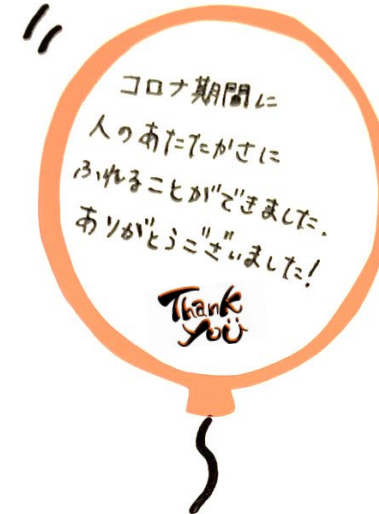
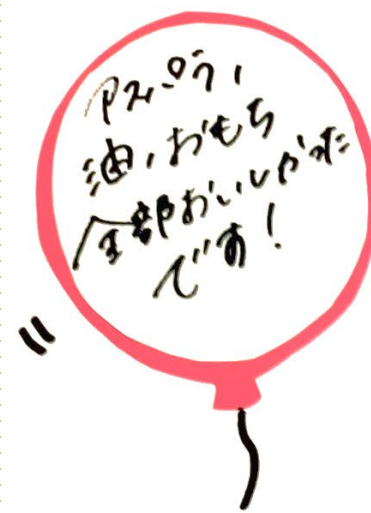
今までは教職員を通じたものや、SNSなどを介してお礼のみでしたが、緊急事態宣言が明けたこともあり、学生代表が各部署を訪れ、今までのお礼を述べさせていただきました。



名寄商工会議所



おすそわけ愛隊



学生から
地域の皆様へ
沢山のご支援
ありがとうございました。

